

# 中筋支店



中筋支店 梶山 邦昭 支店長

国道54号線やアストラムライン、バスターミナルなど交通網が発達した中筋地区。周辺は宅地や店舗が増え、かつての農村の雰囲気は失われつつありますが、そのなかで大事に農地を守る農家の方々がいらっしゃいます。そうした方々を支えながら、幼稚園児と新入職員がいっしょに収穫を行う「農業実践研修」などを通じて、未来への世代にも農業の素晴らしさを伝えるお手伝いを行っています。

### 支店DATA

- ◎所在地  
〒731-0122  
広島市安佐南区中筋3-26-16  
Tel.082-870-4111 Fax.082-870-3500
- ◎職員数  
16名(6月1日現在)
- ◎中筋支店の目標  
地域のみなさまに、気持ちよく来店していただき、気持ちよくお帰りいただくことを心掛けています。

みなさまの相談に、迅速に対応できる支店です。



## 私たちのふれあい活動

### 毎週月曜開催 大人気の朝市

毎週月曜日に支店ロビーで開かれている、人気の朝市。地元の新鮮な旬の野菜が100円という開始時より変わらない価格で並びます。売切れ次第終了です。



毎週第4月曜日は、支店前の駐車場で弁当や花も販売しています。

### 地元小学校で生産指導 エダマメ教室

東野小学校の2年生を対象に特産のエダマメ栽培の指導を行っています。子どもたちは一粒の豆が大きくなる姿に感動し、野菜作りの楽しさや自分で作ったエダマメのおいしさを感じています。



4月には、エダマメに関するクイズを交え、種まきの指導を実施。7月の収穫を目指します。

### 組合員の方々との交流

## 中筋地区の農業を見つめ続けて60年

農事研究会から誕生したおしどり会は、60年近い歴史があります。「9軒の夫婦が、オシドリのように仲良く農業に関わってほしい」という思いで立ち上げました。この地で農業を続ける中川勝則さん。中筋地区は、太田川と古川に囲まれた良質の砂壌土で、市場にも近いことから、野菜の産地として知られてきました。会員で議論を重ねた末に生み出された「中筋ブランド」は、現在では消費者の評価を得てすっかり定着しています。都市近郊の農業のモデルケースとして、多くの視察も受け入れています。



おしどり会元会長 中川 幸男さん

おしどり会現会長 中川 幸男さん

「2カ月に一度の研修会では、エダマメの味比べをはじめ、気象条件や新品種紹介などの情報提供も行っています。さらに日帰り視察旅行も実施しています。その場で、地域のことは中川さんに聞けば何でも教えていただけるので、感謝しています」と上向井渉外主任。後継者不足の問題もありますが、培ったノウハウを次の世代につなげるべく、現会長の中川幸男さんとともに今日も精力的に活動を行っています。



おしどり会現会長 中川 幸男さん

### 楽しみながら親睦を深める レディースクラブ中筋支部

中筋支部では、カラオケ、ヨガ、洋裁、フラダンスなどの教室をはじめ、家の光活用講座、料理教室、味噌づくりや焼肉のたれ作りなど幅広い活動を行っています。例年11月に行う、次の年の干支のちぎり絵は、ちよつど半分の酉まで進みました。「あまり気負わず、楽しみながら親睦を深めます」と今田定子支部長は話します。



家の光活用講座



料理教室



現在120名の会員が和気あいあいと活動しています。

レディースクラブ 中筋支部 今田 定子 支部長

寺戸 千恵 主任 (レディースクラブ担当)



ヨガ教室



手芸教室



洋裁教室

みなさまのご来店を笑顔でお待ちしています。



松本 牧子 職員